

令和6年4月～令和6年9月に開催された地域ケア推進会議における医療と介護の連携支援センターからみた課題について

1. 令和6年4月～令和6年9月に各圏域・センターで開催された地域ケア推進会議テーマ一覧

圏域	開催者	テーマ
堺	堺2	「おひとりさまでも安心して最期を迎えられる地域にするには (人生会議を考える)」
忠生	忠生圏域	「支え合いの町忠生～災害と感染症の中での私たちの暮らし～」
鶴川	鶴川圏域	「大災害発生！オール鶴川で乗り換り切するために私たちにできることは？」
町田	町2	私にあった医療機関の見つけ方
南	南1	アルコール問題を抱える方に必要な支援を考える

2. 医療と介護の連携支援センターからみた医療と介護の連携に関する課題

圏域	開催者	課題
堺	堺2	医療介入する時点でACPが決定されていることが重要であり、日常支援している支援者からどのように医療機関へその人のACPを繋ぐのかを考えて頂くことも連携上重要なポイントである。ACPのツールを今後作るにあたって「医療をどこまでやるか」等の視点も必要だと考える。
忠生	忠生圏域	公的機関による支援が公助で、それ以外は皆被災者であるという視点に立ちもどり、圏域の事業所も地域住民も等しくお互いを支えあうのが共助、相互支援であるということを再確認することが必要と考える。 その際には、医療機関に関しては災害時医療の提供と、継続入院患者の医療継続にリソースを大きく奪われるため、共助構想の中には入り難いという前提を持つことが必要と考える。
鶴川	鶴川圏域	医療には限界があり、災害対策の今後の展開には自助・共助の視点も加えた継続検討が必要だと考える。(前回から継続の課題のため)
町田	町2	主催センターの挙げている地域課題と同じ内容のため特になし。
南	南1	主催センターの挙げている地域課題と同じ内容のため特になし。

3. 課題に対する対応策・今後の地域での展開

圏域	開催者	対応策・今後の展開
堺	堺2	その人のACPを医療機関へどう繋ぐのかについて提案を行っていく。
忠生	忠生圏域	自助、共助、公助の定義づけについて提案を行っていく。
鶴川		
町田		
南	南1	南圏域での検討は一旦終了。他の圏域で同様の地域課題が抽出された場合は、構成メンバーにお酒に関して肯定的な立場にいる職種(例えば酒店や飲食業等)にも参画をいただくなど、課題に対して多様な視点で幅広い議論の展開を提案する。

4. 市全体に共通する医療と介護の連携に関する課題

課題	
課題に対する対応策・今後の地域での展開	